

教 科 芸術	科目	音楽 I	(必修)	授業時数	2 単位
				履修学年	1 学年

目 標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
	(1)曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
	(2)自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
	(3)主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

●学習内容

1 学期	2 4 時間	2 学期	3 0 時間	3 学期	2 4 時間
○曲にふさわしい歌声で表現豊かに歌おう ・曲種に応じた様々な発声の方法について学び、仲間と歌う楽しさを享受する ○表現を工夫してギターを演奏しよう ・ギターの奏法を身に付けるとともに、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、表現を工夫して演奏する。 ○メロディーをつくろう ・「コード進行」をもとにメロディーをつくる ○ボディ・パーカッションに挑戦しよう ・奏法や表現を工夫し、仲間とリズムアンサンブルを楽しみ、発表する	24	○表現を工夫してウクレレやキーボードを演奏しよう ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方に留意して演奏し、表現に必要な技能を身に付ける ○ミュージカル・ナンバーを歌おう ・ミュージカルを鑑賞し、物語のあらすじ、歌詞の内容や登場人物の心情について理解する ・イメージをもって、音楽を形づくっている要素など試行錯誤しながら表現を工夫する。	30	○和楽器、日本の伝統音楽や諸外国の音楽に親しもう ・演奏や鑑賞を通して、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解する ・世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりを理解しながら鑑賞する ○作曲家の生涯と作品をたどろう ・作品を鑑賞し、作曲家について意見を交換しながら、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、西洋音楽史を理解する。	24

教材
「MOUSA 1」（教育芸術社）

授業の進め方
・授業に出席して主体的な音楽活動や授業態度を望みます。 ・授業に対する取り組みの姿勢、表現力、ワークシートや実技テストで総合的に評価します。 ・好きな曲を歌ったり楽器で演奏したり、音楽が生涯にわたって楽しめることを目標にします。

●評価規準（身に付ける力）

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	・ペーパーテスト ・ノート、ワークシートにおける記述内容 ・演奏の聴取、活動時の観察	・ペーパーテスト ・ノート、ワークシートへの記述内容 ・演奏や発表 ・アンサンブルでの取り組みや発表などの場面での観察	・演奏の聴取 ・ノート、ワークシートへの記述内容 ・グループでの話し合いでの発言、活動時の観察 ・生徒による自己評価や相互評価の様子及び記述内容

単元別 評価規準

1 曲にふさわしい歌声で表現豊かに歌おう

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。	・知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・歌う楽しさ、喜びを味わい、イメージをもって歌唱に主体的に取り組もうとしている。

2 表現を工夫してギターを演奏しよう

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。	・知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・曲想とギターの音色や奏法との関わり、及びアーテキュレーションに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

3 「コード進行」をもとにメロディーをつくろう

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・表現したいことの知識や技能を身に付けている。	・知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

4 ボディ・パーカッションに挑戦しよう

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・曲にふさわしい奏法、体の使い方などなどの技能、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。	・アンサンブルに関心をもち、リズムの特徴や変化を知覚し、その働きを感受しながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	・他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

5 表現を工夫してウクレレやキーボードを演奏しよう

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・曲想とウクレレ、キーボードの音色や奏法との関わりについて理解している。	・音楽を形づくっている要素を知覚、感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	・ウクレレ、キーボードの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。

5 ミュージカル・ナンバーを歌おう

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・舞台芸術の特徴と様々な表現形態による歌唱表現や器楽表現について理解している。	・知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

6 和楽器、日本の伝統音楽や諸外国の音楽に親しもう

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	・知覚したことと感受したこととの関わりについて考得とともに、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・我が国や郷土の伝統音楽、諸外国の音楽に関心をもち、演奏や鑑賞に主体的に取り組もうとしている。

7 作曲家の生涯と作品をたどろう

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。	・鑑賞曲や演奏について、評価と根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	・音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりをもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

教科 芸術	科目	美術 I	(必修)	授業時数	2 単位
				履修学年	1 学年

目 標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
	(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
	(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

●学習内容

1 学期	2 4 時間	2 学期	3 0 時間	3 学期	2 4 時間
○オリエンテーション 「美術とは何か」	0.5	○鑑賞：ルネサンス 「ルネサンスの三大巨匠」	2	○デザイン・工芸：文様 「生活を彩る模様・日本の伝統文様」	3
○発想・構想：マインドマップ 「マインドマップで自己紹介」	0.5	○絵画・デザイン：色彩 「三原色・色の三属性・色彩効果」	2	○鑑賞：浮世絵・ジャポニズム・歌舞伎 「浮世絵・印象派・歌舞伎」	4
○絵画・デザイン：構図 「美の秩序」	1	○デザイン：イラストレーション・キャラクター	3	○デザイン：商品企画 「デザインで大切なこと」	1
○映像メディア表現：写真 「新聞写真の構図を分析」	2	○絵画：絵巻物・漫画		○パッケージデザイン	12
「日常の中の美を写真で表す」	1	○映像：アニメーション 「キャラクター・イラストレーション・漫画で表現する」		○デザイン：建築 「ガウディの建築」	1
○素描：デッサン 「立方体・球体・円柱デッサン」	5	○絵画：キュビズム 「キュビズムで人物の特徴を表す」	8	○映像：空間演出 「空間演出・インスタレーション・パフォーマンスアート」	1
「静物3点構成デッサン」	10	○彫刻：塑像・彫像 「立体表現の魅力」	4	○鑑賞：信州ゆかりの作品 「アートゲーム」	1
		○絵画：トリックアート		○まとめ ・日常の中にある美術の要素を見つけ、生活に生かす。 ・作品を大切にすること。	1
		○絵画：シュールレアリスム 「不思議な絵または超現実的な絵」	11		

教材	授業の進め方
高校生の美術 I（日本文教出版社） Google Classroom 教員作成プリント	・美術は全ての教科や生活に関連しています。日常の中に美術の要素を探してみましょう。 ・美術は制作だけではなくありません。さまざまな作品の鑑賞を通して美術の幅広い表現方法を知り、関心をもてるものを探しましょう。 ・教科書や画材、資料、タブレット等を忘れずに準備しましょう。スマートフォンは禁止です。 ・作品の提出期限は、課題終了の翌週金曜日です。授業時間内に完成しなかった場合は16:00～17:00に制作して完成させましょう。欠席をした場合は不明点を確認しましょう。 ・各課題の評価規準により評価します。目標をもって制作をしましょう。 ・制作進行状況により、所要時数や課題内容、順番を変更する場合があります。 ・年間実習費は約4,500円です。共同購入する画材もあります。

●評価規準（身に付ける力）

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
評価方法	・期末考査 課題の意図を理解し、要点を把握できたか。用具を正しく効果的に使用することができたか。(30%)	・題名・テーマ 主題やテーマ、コンセプトを練ることができたか。(5%) ・下描き	・感想カード 工夫したこと・苦労したこと・気付いたこと等を具体的に自分の言葉で記入しているか。(10%)

		主題やテーマ、コンセプトに合った構想を練ることができたか。(10%) ・鑑賞文 主題やテーマ、コンセプトを理解することができたか。身近な物の中に美的要素を見出すことができたか。自分の言葉で表現することができたか。(5%) ・本作品 課題や表現の意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に制作できたか。(30%)	・意欲・提出物・持ち物 授業に必要な用具・教科書・材料を準備できたか。粘り強く追及し、期限までに作品を完成させて提出できたか。(10%)
--	--	---	---

単元別 評価規準

1 オリエーテーション「美術とは何か」

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・さまざまな美術を知ろうとしている。	・美的感覚を養っている。	・美術を楽しんで取り組もうとしている。

2 発想・構想：マインドマップ「マインドマップで自己紹介」

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・マインドマップで書いている。	・自分を見つめ、発想を膨らませている。	・集中して取り組もうとしている。

3 絵画・デザイン：構図「美の秩序」

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・美の秩序や黄金比を理解している。	・造形要素について考えている。	・身近なものの中に造形要素を見つけようとしている。

4 映像メディア表現：写真「新聞写真の構図を分析」

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・絵画や写真の構図の工夫や効果を理解している。	・新聞写真から構図の工夫や効果を読み取っている。	・造形要素を楽しんでいる。

5 映像メディア表現：写真「日常の中の美を写真で表す」

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・カメラの機能や写真の効果を理解している。	・日常の中に美を感じ、テーマを設定している。 ・構図や明度を考えて撮影し、トリミングをして構図を決定している。	・主体的に撮影に取り組み、より良い作品にしようとしている。

6 素描：デッサン「立方体・球体・円柱デッサン」

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準 (身に付ける力)	・デッサンの基礎を理解して正確に描けている。 ・用具を正しく用いて絵画用に鉛筆を削ることができている。	・鉛筆の技法を効果的に用いている。	・形や陰影を追究している。

7 素描：デッサン「静物3点構成デッサン」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	- 形を正確に描いている。 - 明度差をつけている。 - 立体感が出るように陰影を描いている。	- 鉛筆の表現方法を工夫している。 - 造形要素を理解し、効果的なモチーフを選択している。 - 構図を工夫している。	- モチーフや鉛筆を準備している。 - 完成度を高めようとしている。

8 鑑賞：ルネサンス「ルネサンスの三大巨匠」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	ルネサンスの三大巨匠や代表作品について理解良さを味わっている。	ルネサンスとギリシャ美術との関連について考えている。	主体的に鑑賞している。

9 絵画・デザイン：色彩「三原色・色の三属性・色彩効果」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	三原色・三属性・色彩調和・色彩効果を理解している。	配色から色彩効果を感じ取っている。	生活の中に色彩効果を取り入れようとしている。

10 デザイン：イラストレーション・キャラクター

絵画：絵巻物・漫画

映像：アニメーション「イラストレーション・キャラクター・絵巻物・漫画・アニメーションの関連」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	- イラストレーションの役割と表現の工夫について理解している。 - 場面のイメージ、感情や動き、時間の表現などを基に、コマ割りや構図、背景などの効果を理解している。 - キャラクターと漫画、絵巻物、アニメーションの関連を理解している。 - コンセプトと白銀比について理解し、生かして表現している。	コンセプトを基に、キャラクターの形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練っている。	意欲的に制作して完成度を高めている。

11 絵画：キュビズム「キュビズムで人物の特徴を表す」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	キュビズムの考え方を理解している。	- キュビズムの技法で特徴を表している。 - モデルの特徴を捉え、内面が表れるように表現している。	必要な写真や用具を準備している

12 彫刻：塑像・彫像「立体表現の魅力」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	塑像と彫像の違いを理解している。	対象の表現や動きから感じ取ったイメージなどを基に、形や質感、重心などの効果を考え、鑑賞している。	身の回りの彫刻作品を鑑賞し、良さを感知しようとしている。

13 絵画：トリックアート

絵画：シュールレアリスム「不思議な絵または超現実的な絵」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	- 錯視を理解している。 - 構図・色彩・明度等の表現方法を工夫している。	発想を広げ、テーマを設定し、構想を練っている。	意欲的に制作して完成度を高めている。

14 デザイン・工芸：文様「生活を彩る模様・日本の伝統文様」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	・身近にある文様を探し、成り立ちや願いを調べて理解している。	・用途により用いられる文様が違うことを考え、鑑賞している。	・生活の中にある模様や文様について、主体的に探している。

15 鑑賞：浮世絵・ジャポニズム・歌舞伎「浮世絵・印象派・歌舞伎」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	・浮世絵と印象派の特徴や関連を理解している。	・浮世絵版画の発展の歴史や、作品のよさや美しさを味わい鑑賞している。 ・美術文化の継承と創造について考えている。	・身近なものの中に根付いている日本文化を楽しもうとしている。

16 デザイン：「デザインで大切なこと」 デザイン：パッケージデザイン「菓子箱の商品企画」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	・既製品からデザインのコンセプトと効果を読み取っている。 ・効果的な配色や構図を用いている。	・明確なコンセプトを設定し、色彩効果などを考え、目的に合ったデザインをしている。 ・コンセプトに合った商品のパッケージやロゴマーク・キャッチコピーの構想を練っている。	・身近な商品からデザインの意図を読み取ろうとしている。

17 デザイン：建築「ガウディの世界遺産」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	・ガウディの世界遺産とモチーフを理解している。	・ガウディのデザインのよさや美しさ、自然の形体の生かし方などの特徴、美術文化の継承と創造について考えている。	・主体的に鑑賞し、感じたことを自分の言葉で表現している。

18 映像：空間演出「インスタレーション・パフォーマンスアート」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	・美術表現の多様性について理解している。	・美術の表現方法の多様性を感じ取って鑑賞している。	・様々な美術表現を楽しもうとしている。

19 鑑賞：信州ゆかりの作品「長野県版アートゲーム」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	・信州ゆかりの作家や作品、美術館を知っている。	・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	・主体的に作品を鑑賞している。

20 まとめ「生活の中の美術」

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	(身に付ける力)	・さまざまなものの中に美術の要素があることを理解している。	・様々なものの中から美術の要素を読み取っている。	・作品を大切にし、生涯に渡って美術を愛好する心情を養おうとしている。